



# 月刊 千葉動力車

90.9.27 No. 3285

## ミルクスタンド閉店再強制配転で団交%26

# 当局通勤、業務能力も考慮し決ま

### 言詰同断!

## この配転は直切 許せるのか

動力千葉本部は、九月二六日、ミルクスタンド七店舗と二つの「なのはな」売店の閉店に伴う、再強制配転に激しい怒りをこめ、団体交渉にのぞんだ。

組合側の質問・追及に対し、支社当局は「何一つ納得のいく説明も行わず、全くの不誠実な態度に終始した。」

結局、時間切れで「引き続き協議」ということで、この日は終了したが「次回には、回答時に納得のいく説明」を強く申し入れた。

経営官(者)責任にほうかむり!現場社員(組合員)には処分!

組合日側  
申し入れ

一、ミルクスタンドの店舗について、開店以来業績が上がらなかつたことについて

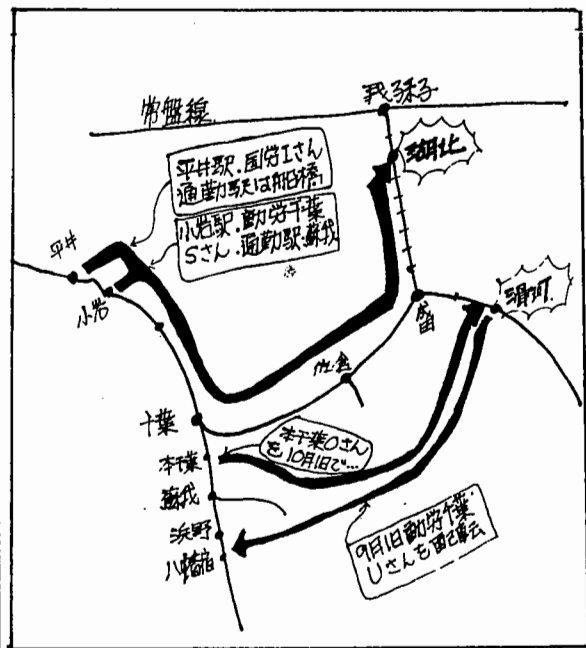
では、施策の失敗と考える。然るに、経営責任をどのように考えているのか明らかにされたい。

二、今回、生みだされる要員について、配転順に元職場に戻すこと。

三、この間における強制配転者について元職復帰の道筋を明らかにすること。

当三局

一について、今施策は、業務実態等を勘案し、実施するものだ。二と三については会社は、業務上の必要により、社員を任用するにあたり、社員としての自覚、勤労意欲、執務態度、知識、技能、適格性等の人事考課に基づき公正に判断し行った。



(組合)業績が上がらなかつたというなら、その経営責任について、明確にすべきだ。

(当局)この間、業績だけでなく、経営のノウハウも修得してきた。成果もあるのだから責任をとる必要はない。

(組合)現場で何かあれば、即処分ということでは責任を求めておいて、経営上の責任については、全くの無しのつづてか!

(当局)店舗について、今後大型化とか方向づけは出ています。将来展望を考えてやってきたから、責任はとる必要はない。

(組合)強く抗議—隔離政策でやったのか!

(組合)ミルクスタンドでノウハウを学べたのか!労働政策で隔離のためには、やったとしか言えないか!

(組合)ミルクスタンドそのものの設置場所を見ても、最初から業績などは関係ないところ設置している。

技術力の高い検査係や、運転士をあえて「スタンド」に持っていき、何が適材適所か!こじつけもいところだ!

(当局)組合側の言うておるようなことはない。(組合)答えになつていない!人を何だと思つておるか!物扱いはやめろ!ノウハウを学ぶとか、業績云々と云つておるが、三年余、指導もろくにやつていない!何を言つておるか!見えない言

い訳はやめろ!

嫌がらせそのもの!再配転のデータラメ性!

(組合)再配転の実態は、嫌がらせそのものではないか!

平井駅(通勤駅・船橋駅)の者を我孫子線の湖北に持っていか、滑川駅から一人八幡宿に飛ばし、その穴うめ的に千葉ミルクスタンドから一人、滑川駅に持っていか、他にもとにかく目茶苦茶すぎる!

嫌がらせをやつて、勤労意欲を奪うような事はやめろ!

(当局)職場の活性化を図る意味も含め、通勤とか業務能力を総合的に判断し決めたことだ。

(組合)言うておることを言うのか!社員の「痛み」を考えたことがあるのか!

断じて許せない!

(当局)持ちかえつて、検討する。

以上の当局の説明に解説は必要ない。われわれは、心底からの怒りを再度燃やし弾劾する!組合つぶしの為には、人を人と思わない千葉支社当局を断じて許せない!当局は「閉店」にともなつて生みだされた要員については、今すぐ元職に戻せ!